

I R 事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

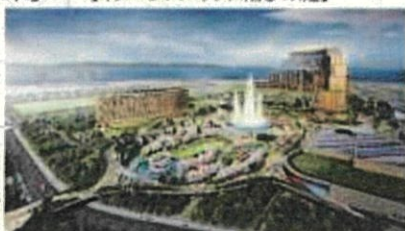
大阪IRのコンセプト

基本理念

- ◆あらゆるものを「結ぶ」起点となる
 - 「人・モノ・投資、情報・才能」
 - 「大阪・関西・日本の過去、現在と未来」 【イメージバース：結びの庭】
 - 「大阪・関西と日本と世界」

コンセプト

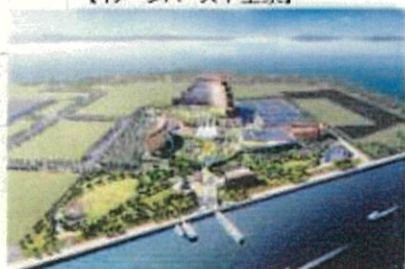
- ◆ “結びの水都”
 - 大阪・関西を世界とつなぐゲートウェイ
 - ここにしかない最高のエンターテインメント
 - 未来を創出するイノベーション
 - 大阪の発展を象徴する水



【イメージバース：全景】

ビジョン

- ◆ “WOW” Next
 - 特徴的な建築やマスタープラン
 - 世界トップクラスのエンターテインメント
 - 最高級の宿泊施設
 - 日本最大級のMICEコンプレックス



MGMが展開する
世界最先端の“WOW”



大阪・関西が誇る観光・産業・
文化にわたる魅力・ポテンシャル

- ◆世界最高水準の成長型IRを地域とともに実現する
 - 地域とともに新たなビジネスを生み、来訪者を各地につなげるゲートウェイとなり、地域に波及効果をもたらすことで、持続的な経済成長につなげる
- ◆観光産業の高度化、持続可能性の向上に寄与する
 - 送客の促進、受入環境の整備支援等を通じて、観光振興の波及につなげる

コンセプトの具現化

結びの水都

- ◆水都大阪が育んだ伝統・文化・精神を継承した施設とコンテンツ
- ◆水やみどりの要素を随所に取り入れたランドマーク性のある空間形成
- ◆先端技術の導入による先進的で非日常的な空間の提供

土地利用方針

コンセプトに基づく夢洲のポテンシャルを最大限に活かしたゾーニング

ゾーン	方向性	主な配置施設
「関西ゲートウェイ」ゾーン	駅前の交通拠点を起点に、I R 内部へ誘引するダイナミックな空間構成とする	関西ツーリズムセンター MGM大阪 MUSUBIホテル
「イノベーション」ゾーン	新たなビジネスの創出を促す、付加価値創造のための拠点とする	MICE施設
「ウォーターフロント」ゾーン	豊かな水の風景によるうおいと安らぎを与え、多くの人が集い、憩う空間とする	フェリーターミナル 海辺景観を活かした公園
「結びの庭」ゾーン	ゾーンを超えた有機的な施設間連携を増大させる	オープンスペース 商業店舗等

【ゾーニングイメージ図】



IR事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

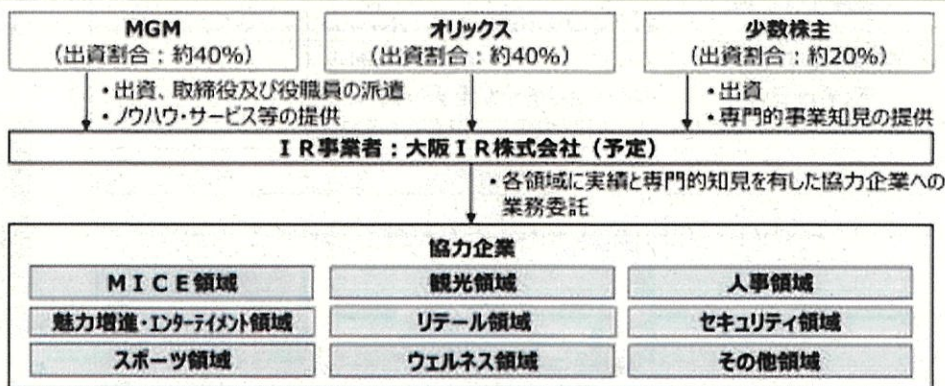
IR事業者（概要）

名称	大阪IR株式会社（予定）
本社	大阪府大阪市
構成員	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 中核株主（2社） 合同会社日本MGMリゾート オリックス株式会社 ◆ 関西地元企業を中心とする少数株主（20社） 岩谷産業株式会社 大阪瓦斯株式会社 株式会社大林組 関西電力株式会社 近鉄グループホールディングス株式会社 京阪ホールディングス株式会社 サントリーホールディングス株式会社 株式会社JTB ダイキン工業株式会社 大成建設株式会社 大和ハウス工業株式会社 株式会社竹中工務店 南海電気鉄道株式会社 西日本電信電話株式会社 西日本旅客鉄道株式会社 日本通運株式会社 パナソニック株式会社 丸一銅管株式会社 三菱電機株式会社 レンゴー株式会社

事業実施体制

- ◆ グローバルかつ大阪・関西に根差したコンソーシアム
- ◆ 地元企業の専門的な知見を活用しつつ、MGM・オリックス共同で本事業を全体統括・推進
- ◆ IRリーディングカンパニーであるMGMのノウハウに加え、MICE・魅力増進・観光・エンターテイメント等各分野で豊富な実績を持つ協力会社とともに、国際競争力を有するIR実現

- ※ MGMリゾート・インターナショナル（合同会社日本MGMリゾートの完全親会社）の事業実績
 - ・ラスベガスに本社を置くIR運営会社
 - ・30年以上の歴史を持ち、世界で31のIRブランドを開発・運営
 - ・ラスベガス最大のMICEオペレーター、年間宿泊需要250万室を創出、年間9,000以上のショー・イベントを開催し、エンターテイメント分野においても豊富な事業実績
- ※ オリックス株式会社の事業実績
 - ・京セラドーム大阪や全国でのホテル・温泉旅館、MICE施設等の集客施設の開発・運営
 - ・関西3空港運営やグランフロント大阪（うめきた）開発・運営といった官民連携事業の実績



コンプライアンス確保・反社会的勢力の排除

- ◆ **コンプライアンス確保のための体制・取組み**
 - 全部門における法令順守を徹底・主導するコンプライアンス部門や、外部委員で構成するコンプライアンス委員会等を設置し、複層での推進体制を構築
 - コンプライアンス計画・行動規範等の策定、従業員に対する研修・教育訓練の実施
- ◆ **反社会的勢力排除の徹底**
 - 大阪府・市、大阪府警察等と連携するとともに、データベースを作成・維持管理し、役員・株主・出資者・従業員・取引先等について十分な適格性審査を実施

I R 事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

初期投資額

◆ 約1兆800億円（税抜き）

建設関連投資：約7,800億円、その他初期投資額：約3,000億円

収支計画

年間売上

約5,200億円

ハンゲーミング：約1,000億円（約20%）

ゲーミング：約4,200億円（約80%）

資金計画

◆ 資金調達額：約1兆800億円（税抜き）

➢ 出資金額：約5,300億円（49%）

MGM約40%：オリックス約40%：少数株主約20%

※各少数株主の出資割合は5%未満

➢ 借入金額：約5,500億円（51%）

プロジェクトファイナンスによる借入（株式会社三菱UFJ銀行・株式会社三井住友銀行からコミットメントレター取得）

運用 約1兆800億円	調達 約1兆800億円		
初期投資額 約1兆800億円	借入 約5,500億円	出資割合	
	出資 約5,300億円		合同会社日本MGMリゾート（約40%）
			オリックス株式会社（約40%）
		少数株主（約20%）	

I R 事業の工程

◆ 開業時期：2029年秋～冬頃

◆大阪府・市及びI R事業者は、世界最高水準のI R及び早期開業による速やかな事業効果の発現が実現できるよう、公民連携して取り組む。

※工程が最も早く進捗した場合の想定。なお、新型コロナウイルス感染症の収束状況、I R事業の税制上の取扱い及びカジノ管理規制の整備状況、夢洲特有の地盤性状への対応状況、工事環境等によっては、I R事業の工程は1～3年程度後ろ倒しとなる可能性がある。

大阪 I R 事業実現に向けた課題

◆ I R事業の実現には、現時点での不確定事項・課題（新型コロナウイルス感染症の影響、国の詳細制度設計、夢洲特有の課題等）の解決が必要不可欠である。

◆大阪府・市及びI R事業者は、これら課題の解決とI R事業の実現に向け、引き続き公民連携して取り組む。

<事業実現に向けた主な課題>

➢ 新型コロナウイルス感染症の影響

- ・新型コロナウイルス感染症が収束し、国内外の観光需要の回復に見通しが立つこと。
- ・MGM・オリックスについて、投資実行に際しての深刻な財務状態の悪化が生じていないこと。

➢ 国の詳細制度設計（I R税制・カジノ管理規制等）

- ・I R税制について、早期に法制化が行われ、運用面含めて国際標準・国際競争力が確保されること。
- ・カジノ管理規制及び区域認定制度について、各種基準が早期に制定・明確化され、運用面を含めて国際標準・国際競争力が確保されること。

➢ 夢洲特有の課題

- ・土壌汚染・液状化等への適切な対応を含め、I R事業用地の適性が確保できること。
- ・円滑な工事遂行が可能な工事環境が整うこと。

I R 事業について

○ 大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画（案）抜粋

I R 施設の規模			
区分	施設種別	延床面積	施設構成・規模
1号施設	国際会議場施設	約3.7万㎡	最大会議室 6,000人以上収容
2号施設	展示等施設	約3.1万㎡	展示面積 2万㎡ 関西イノベーション・ラボ
3号施設	魅力増進施設	約1.1万㎡	ガーデンシアター 関西ジャパンハウス 三道体験スタジオ ジャパン・フードパビリオン 関西アート&カルチャーミュージアム
4号施設	送客施設	約1.3万㎡	関西ツーリズムセンター バスターミナル、フェリーターミナル
5号施設	宿泊施設	約28.9万㎡	客室 約2,500室 レストラン、プール、フィットネス 大浴場、バンケット等
6号施設	エンターテインメント施設	約1.3万㎡	夢洲シアター 約3,500席
	飲食・物販・サービス等施設	約31.0万㎡	飲食施設、物販施設 駐車場、エネルギーセンター等
カジノ施設		約6.5万㎡	※うち、カジノ行為区画は総延床面積の3%以内
総延床面積		約77万㎡	

【I R 区域の全体配置（イメージ）】



※現時点での計画であり今後の計画調整等により変更することがある。

【イメージパース：全景】

